

2019年度 第3四半期
(2020年3月期 第3四半期)

IR説明資料

2020年2月4日

不二製油グループ本社株式会社

目次

1	連結 損益概要(3Q : 3ヶ月実績)	…	3 ページ
2	連結 損益概要(3Q累計)	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	連結 指標	…	6
6	2019年度通期業績予想	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8
9	売上高・営業利益（所在地別・事業別）3Q累計	…	9
10	売上高・営業利益（所在地別・事業別）通期業績予想	…	10
11	中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)	…	11
12	主要関連相場	…	12
13	中期経営計画	…	13
14	トピックス	…	13

※「IR説明資料」について

当資料は、短信補足資料（1～8）に、所在地別実績等の詳細データ（9～14）を追加し統合した資料です

◆ 1. 連結 損益概要(3Q : 3ヶ月実績)

第3四半期 (3ヶ月実績)

(単位：億円)

		18年度 3Q	19年度 3Q	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	植物性油脂	276	250	▲26	▲9.5%
	業務用チョコレート	191	449	+258	+135.5%
	乳化・発酵素材	234	210	▲24	▲10.3%
	大豆加工素材	94	90	▲4	▲4.1%
	合計	795	999	+204	+25.7%
営業利益	植物性油脂	27	29	+2	+8.9%
	業務用チョコレート	23	33	+10	+42.4%
	乳化・発酵素材	14	13	▲1	▲9.1%
	大豆加工素材	10	10	+1	+5.4%
	連結調整・ グループ管理費用	▲9	▲9	▲0	-
合計	65	76	+11	+17.6%	
営業利益率	8.1%	7.6%	▲0.5pt	-	
経常利益	61	69	+8	+12.4%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	46	61	+14	+30.8%	

※欧州は2019年度より植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

乳化・発酵素材事業は調製品の不調により減益となったが、植物性油脂事業での採算性の向上、業務用チョコレート事業での日本の堅調な推移、Blommerの連結等により全社では増益となった。3Q3ヶ月の営業利益は過去最高となった。

<セグメント別>

植物性油脂

日本でのチョコレート用油脂の拡販による増加、また原料が安定的に推移したことによる東南アジアでの採算改善により増益。

業務用チョコレート

ハラルドでの拡販による数量増、日本での菓子向けの堅調な販売、Blommerの連結により増益。

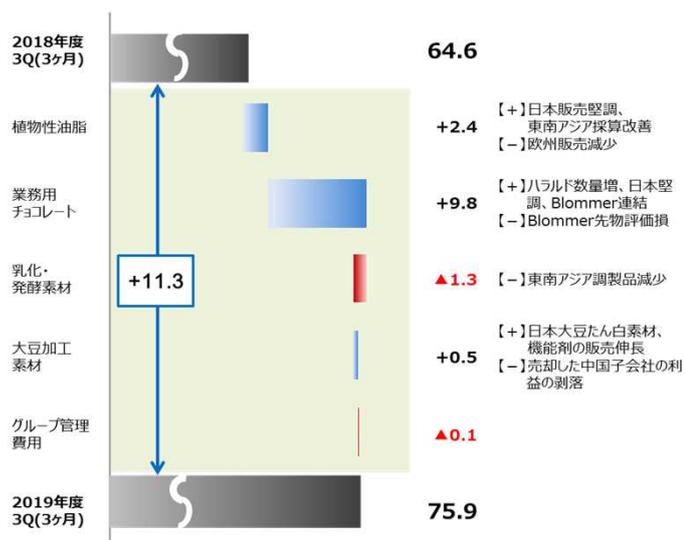
乳化・発酵素材

東南アジアでの調製品事業の減収、中国でのパン市場向けマーガリン等の数量減により減益。

大豆加工素材

前年度に売却した中国子会社の利益の剥落はあったが、日本での大豆たん白素材、機能剤の増加により増益。

2019年度第3四半期 (3ヶ月) 営業利益増減分析



■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

投資有価証券売却益の計上より増加

	FY18 Q3	FY19 Q3	増減額	要因分析
業務用チョコレート	23.2	33.1	9.8	
日本	20.0	23.1	3.2	菓子向けが堅調に推移
米州	▲0.2	6.0	6.1	
・Blommer、ハラルド			9.4	Blommerの連結により増益。 ハラルドは、レアル安などによる採算性悪化があったものの、販売数量の増加により増益。
・Blommer先物評価損益影響額			▲3.3	
東南アジア	2.4	2.4	0.0	
中国	0.2	▲0.1	▲0.2	
欧州	0.7	1.6	0.9	
連結調整	0.1	0.0	▲0.1	

◆2. 連結 損益概要(3Q累計)

第3四半期累計

(単位：億円)

	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	805	736	▲69	▲8.6%
	業務用チョコレート	532	1,293	+760	+142.9%
	乳化・発酵素材	654	617	▲37	▲5.6%
	大豆加工素材	275	269	▲6	▲2.3%
	合計	2,267	2,915	+648	+28.6%
営業利益	植物性油脂	61	73	+12	+19.4%
	業務用チョコレート	67	57	▲10	▲15.2%
	乳化・発酵素材	29	32	+4	+12.6%
	大豆加工素材	27	31	+4	+16.0%
	連結調整・ グループ管理費用	▲25	▲27	▲3	-
合計	159	166	+7	+4.4%	
営業利益率	7.0%	5.7%	▲1.3pt	-	
経常利益	156	151	▲5	▲3.4%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	90	120	+30	+33.5%	
EBITDA	240	285	+45	+18.7%	
ROE	7.6%	10.2%	+2.7pt	-	
営業キャッシュフロー	133	202	+69	+51.8%	
投資キャッシュフロー	▲136	▲118	+18	+13.3%	
フリーキャッシュフロー	▲3	84	+87	-	
NET有利子負債	542	1,366	+824	+152.2%	
NET運転資本	586	817	+231	+39.4%	
NET有利子負債/EBITDA	1.7倍	3.6倍	+1.9倍	-	
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	108日	118日	+10日	-	

※欧州は、2019年度より植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

業務用チョコレート事業は減益となったが、植物性油脂事業、乳化・発酵素材事業、大豆加工素材事業で増益となり、前年同期比7億円の増益となった。3Q累計の営業利益としては過去最高となった。

<セグメント別>

植物性油脂

日本、米州にてCBEの販売が堅調に推移したことや、原料相場の安定推移により、欧州等での採算が改善し増益。

業務用チョコレート

欧州、日本は堅調も、Blommerの先物評価影響、またブラジルでの需要期の販売減、レアル安による原料コスト増により減益。

乳化・発酵素材

日本でのクリーム等の販売が堅調に推移したことに加え、東南アジアでの調製品事業の採算性が前年より改善し増益。

大豆加工素材

機能剤の減益はあったが、大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調に推移し増益。

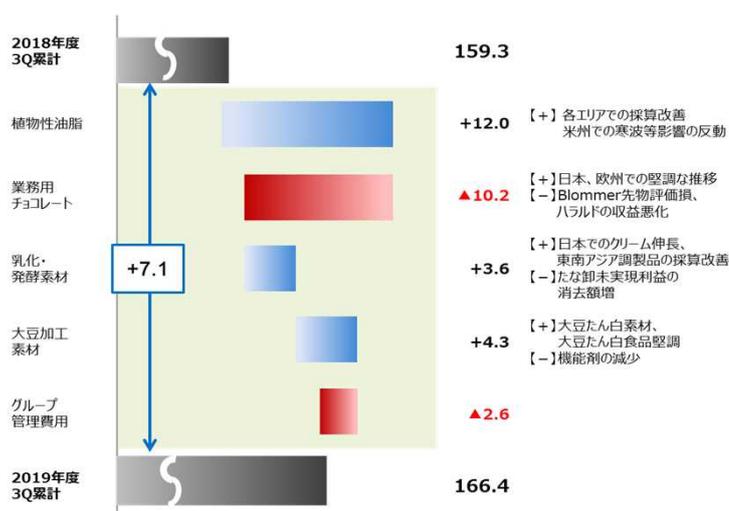
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

前期の減損損失、災害による損失の反動に加え、旧堺工場の売却益、投資有価証券売却益により増加。

■ CCC

Blommerの連結により118日に増加、Blommerの影響除けば105日。

2019年度第3四半期累計 営業利益増減分析



	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減額	要因分析
業務用チョコレート	67.1	56.9	▲10.2	
日本	48.4	52.4	4.0	菓子向けが堅調に推移
米州	10.3	▲7.0	▲17.2	
・Blommer、ハラルト			2.3	Blommerは、高付加価値品が伸長。 ハラルトは、2Q以降販売数量は回復したものの、繁忙期であるイースター商戦の1Qの販売減少、レアル安などによる採算性低下などにより減益。
・Blommer先物評価損益影響額			▲19.5	2Q累計▲16.2 3Q3ヶ月:▲3.3
東南アジア	6.4	7.0	0.6	
中国	0.7	0.7	0.1	
欧州	1.7	3.6	1.9	販売堅調
連結調整	▲0.4	0.1	0.5	

◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末(*調整後)	19年度 3Q末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,802	▲52	原材料及び貯蔵品の減少
固定資産	2,051	1,999	▲52	のれんの減少、投資有価証券の減少
繰延資産	-	3	+3	
資産合計	3,905	3,804	▲102	
有利子負債	1,605	1,566	▲38	短期借入金の減少
その他負債	708	644	▲65	仕入債務、未払金の減少
負債合計	2,313	2,210	▲103	
純資産合計	1,592	1,594	+2	

* 2019年度第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、

2018年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容へ遡及修正。

◆4. 連結 キャッシュ・フロー

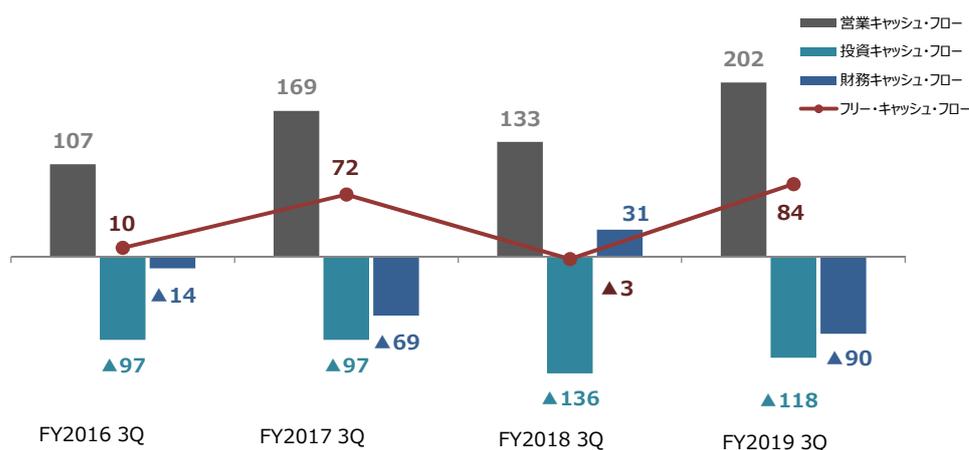
(単位：億円)

	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	前年同期比	主な増減要因
税金等調整前四半期純利益	124	171	+46	
減価償却費	84	107	+23	
のれん償却費	5	17	+12	
他増減	▲81	▲93	▲13	
営業キャッシュ・フロー	133	202	+69	
投資キャッシュ・フロー	▲136	▲118	+18	
フリー・キャッシュ・フロー	▲3	84	+87	
借入金等による調達・返済	130	▲39	▲169	有利子負債の減少
配当金支払等その他	▲99	▲52	+47	
財務キャッシュ・フロー	31	▲90	▲121	
現金及び現金同等物増減額	22	▲13	▲35	
現金及び現金同等物残高	152	200	+48	

(注) 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

キャッシュ・フロー (3Q累計)

(単位：億円)



◆5. 連結指標

(単位：億円)

	18年度 3Q実績	18年度 実績	19年度 3Q実績	19年度 期初予想	19年度修正予想 (*2)(19年11月)
EBITDA	240	300	285	392	-
設備投資額	124	159	109	220	-
減価償却費	77	110	89	107	-
有利子負債	694	1,605	1,566	1,535	1,555
NET有利子負債	542	1,392	1,366	1,366	1,355
NET運転資本	586	171	817	745	-
NET有利子負債/EBITDA	1.7	4.6	3.6	3.5	-
1株当たり純資産	1,820円	1,820円	1,823円	1,954円	-
自己資本比率	56.4%	40.1%	41.2%	42.7%	-
D/ELシオ	0.44	1.03	1.00	0.91	0.97
Net D/ELシオ	0.34	0.87	0.81	0.80	0.79
営業キャッシュフロー	133	226	202	320	-
フリーキャッシュフロー	▲3	▲565	84	101	-
ROE	7.6%	7.3%	10.2%	9.4%	10.7%
ROA	7.6%	5.5%	5.3%	5.7%	6.2%
売上高営業利益率	7.0%	6.2%	5.7%	5.6%	5.9%
CCC	108日	105日(*1)	118日	105日	106日

(注)・減価償却費は有形固定資産の減価償却費を、純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/ELシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ・Net D/ELシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 株主資本

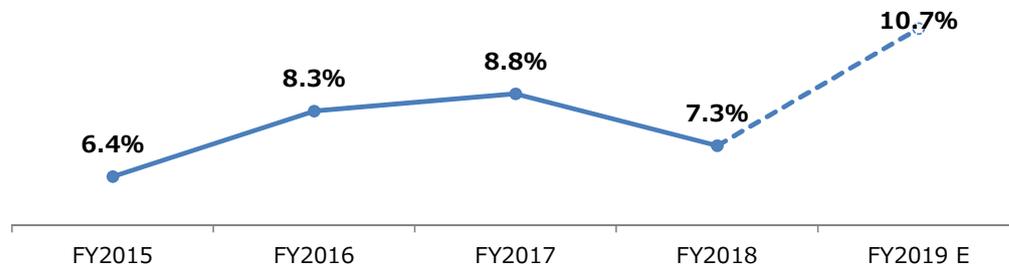
・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

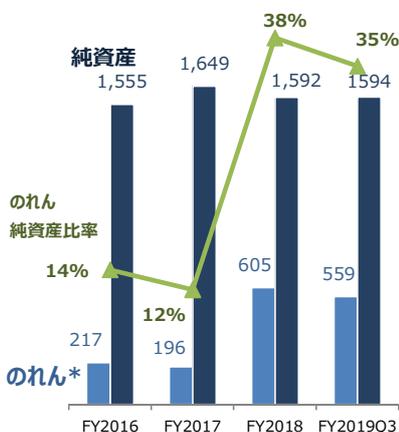
(*1)2018年度のCCCはBlommerを除く既存事業。

(*2)Blommer、INDUSTRIAL FOOD SERVICES(以下、豪州IFS)を除く海外グループ会社の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

ROE

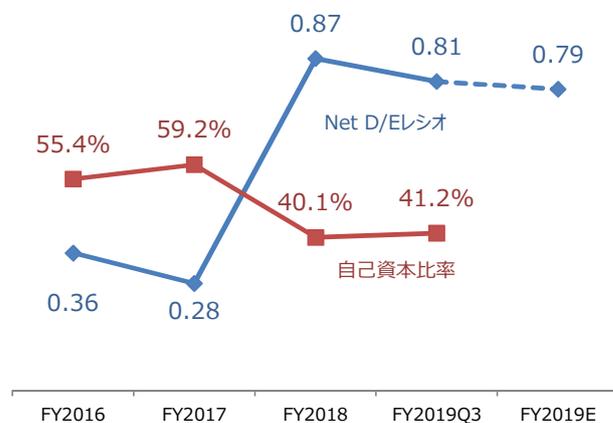


のれん純資産比率 (単位：億円)



*のれんは広義ののれんを使用

Net D/ELシオ 自己資本比率



◆6. 2019年度通期業績予想

2019年度通期業績予想(19年11月修正)

		18年度	19年度	19年度	19年度	19年度
		実績	期初予想 (12ヶ月ベース)	修正予想 (12ヶ月ベース)	15ヶ月予想 に追加の海外 3ヶ月分	修正予想 (15ヶ月ベース)
売上高	植物性油脂	1,097	1,139	983	156	1,139
	業務用チョコレート	686	1,874	1,783	91	1,874
	乳化・発酵素材	865	915	854	61	915
	大豆加工素材	361	372	365	7	372
	合計	3,008	4,300	3,985	315	4,300
営業利益	植物性油脂	81	91	90	10	100
	業務用チョコレート	74	103	95	9	103
	乳化・発酵素材	33	43	45	4	50
	大豆加工素材	33	41	40	1	41
	連結調整・ グループ管理費用	▲37	▲38	▲39	-	▲39
	合計	185	240	230	25	255
営業利益率		6.2%	5.6%	5.8%	-	5.9%
経常利益		182	220	217	23	240
親会社株主に帰属する当期純利益		116	152	152	18	170

■営業利益

<ポイント>

海外事業（Blommer、豪州IFS除く）の決算期変更に伴い、営業利益計画を240億円から、255億円に修正。（12ヶ月ベースの計画は240億円から230億円に修正）

業務用チョコレート事業で、Blommerの販売数量の減少、ハラルドの採算性の低下を見込むもの、植物性油脂事業や大豆加工素材事業の堅調な推移を見込む。

<セグメント別>

植物性油脂

採算性を重視した販売の継続に加え、チョコレート用油脂の堅調な販売、及び、北米での寒波・ハリケーンの影響がなくなることによる伸長などを見込む。

業務用チョコレート

Blommerの下期での販売数量の減少、ブラジルでのレアル安などによる採算性の低下は見込むもの、Blommer買収費用の減少に加え、日本、欧州での伸長を見込む。

乳化・発酵素材

日本でのクリームなどの販売伸長、調製品事業の前年比での業績改善などを見込む。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の採算性改善、販売伸長を見込む。

※19年度修正予想(12ヶ月)は、海外連結子会社の1月から12月の12ヶ月を反映。尚、Blommerは2月から1月の12ヶ月を反映。

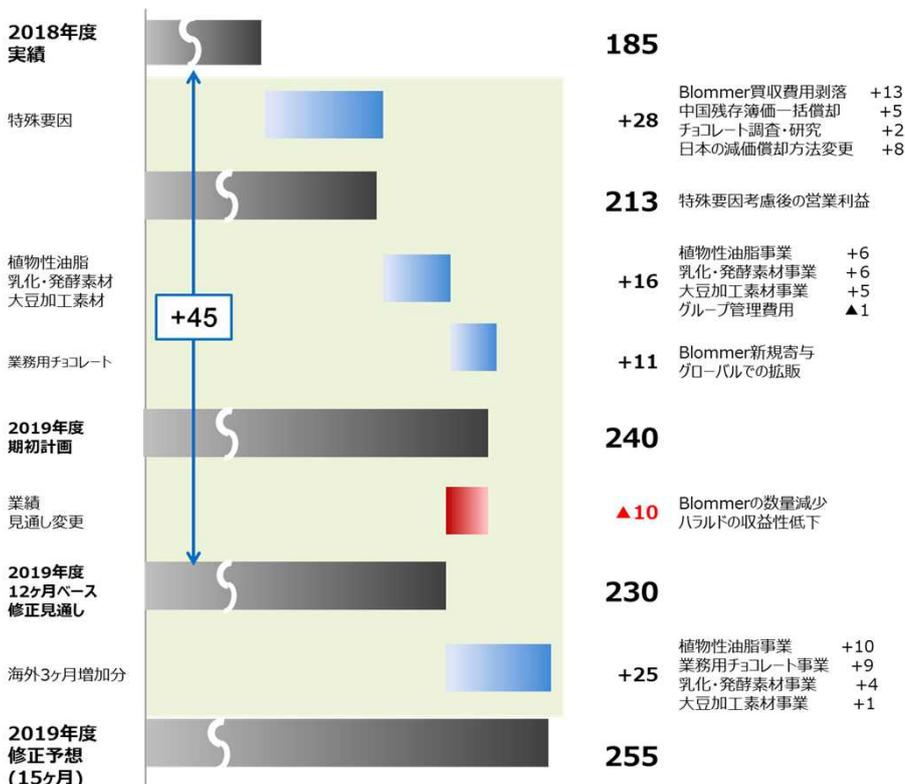
19年度修正予想(3ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う3ヶ月間(1月から3月)の増加額を反映。

19年度修正予想(15ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

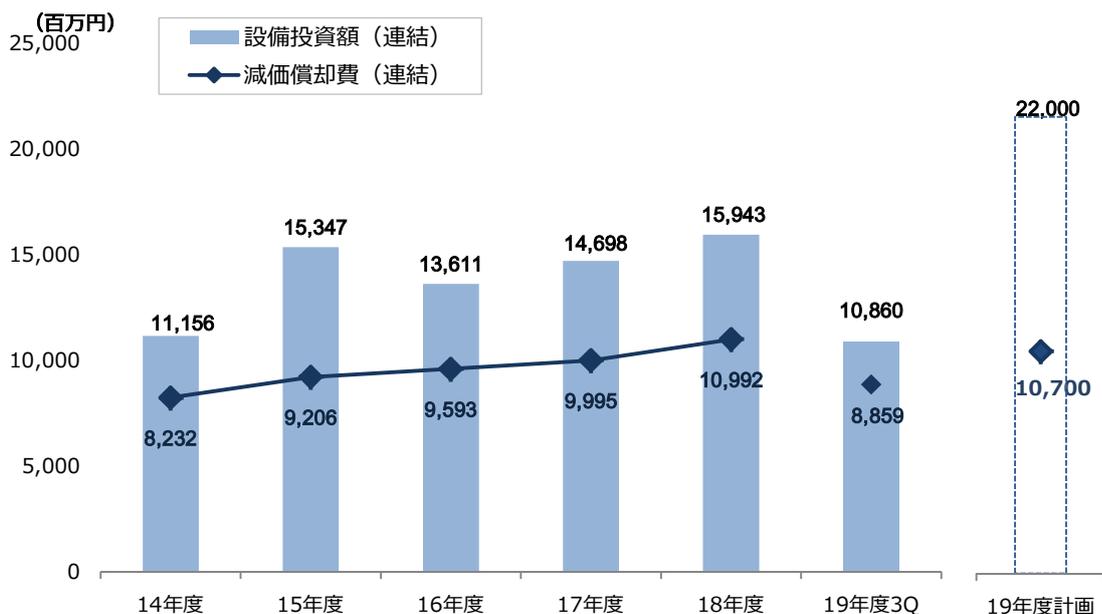
19年度にセグメント変更を実施。製菓・製パン素材事業を、業務用チョコレート事業と乳化・発酵素材事業に変更。

また、セグメント名を油脂事業を植物性油脂事業、大豆事業を大豆加工素材事業にそれぞれ変更。

2019年度営業利益増減分析

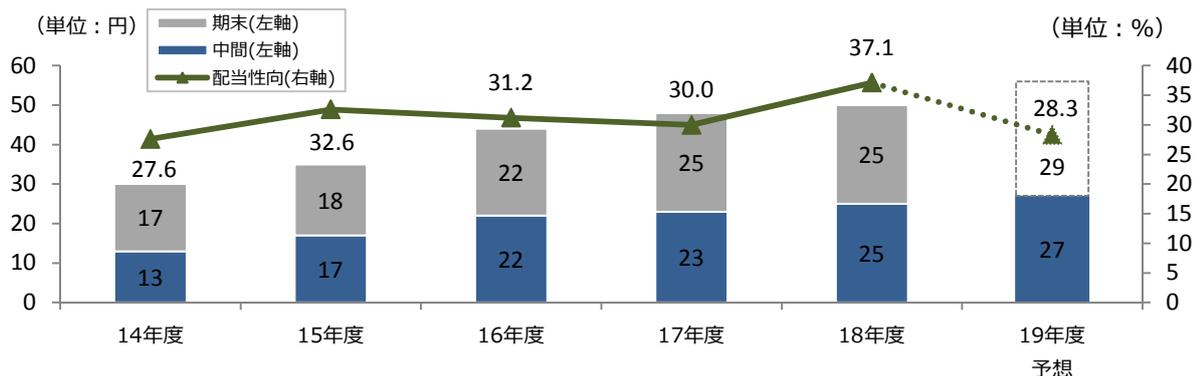


◆7. 設備投資額・減価償却費の推移



2019年度3Q累計実績		2019年度計画(期初計画)	
設備投資	109億円	設備投資	220億円
<主な投資内容>		<主な投資内容>	
・北米 油脂 新拠点設立	20億円	・北米 油脂 新拠点設立	51億円
・Blommer 設備投資	9億円	・Blommer 設備投資	13億円
・日本 粒状大豆たん白工場	1億円		
減価償却	89億円	減価償却	107億円

◆8. 配当の推移



	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
中間	12	12	13	13	17	22	23	25	27
期末	12	13	13	17	18	22	25	25	29
合計	24	25	26	30	35	44	48	50	56
配当性向	24.9%	25.8%	27.4%	27.6%	32.6%	31.2%	30.0%	37.1%	28.3%

◆9. 売上高・営業利益（所在地別・事業別）3Q累計

(単位：百万円)

売上高

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 3Q	26,594	▲1,622	20,718	▲735	12,742	▲499	1,935	▲533	11,604	▲3,513	73,594	▲6,903
	2018 3Q	28,216		21,453		13,241		2,468		15,117		80,497	
業務用 チョコレート	2019 3Q	28,837	▲319	87,871	75,326	7,903	988	1,962	▲68	2,706	120	129,282	76,048
	2018 3Q	29,156		12,545		6,915		2,030		2,586		53,234	
乳化・発酵 素材	2019 3Q	45,549	▲2,543			7,513	▲820	8,630	▲320			61,694	▲3,682
	2018 3Q	48,092				8,333		8,950				65,376	
大豆加工 素材	2019 3Q	25,179	▲121					1,748	▲500			26,928	▲621
	2018 3Q	25,300						2,248				27,549	
売上高計	2019 3Q	126,161	▲4,605	108,590	74,592	28,159	▲331	14,277	▲1,421	14,310	▲3,393	291,499	64,842
	2018 3Q	130,766		33,998		28,490		15,698		17,703		226,657	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高（内部取引は消去後の売上高）

19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年3Q実績も遡及修正済み。

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 3Q	3,514	576	1,648	231	952	187	214	▲58	1,065	288	▲54	▲27			7,339	1,195
	2018 3Q	2,938		1,417		765		272		777		▲27				6,144	
業務用 チョコレート	2019 3Q	5,239	396	▲697	▲1,722	704	61	73	6	358	193	10	45			5,689	▲1,020
	2018 3Q	4,843		1,025		643		67		165		▲35				6,709	
乳化・発酵 素材	2019 3Q	2,021	423			381	190	787	19			42	▲271			3,233	362
	2018 3Q	1,598				191		768				313				2,871	
大豆加工 素材	2019 3Q	2,635	472					403	▲53	▲13	▲13	81	21			3,108	429
	2018 3Q	2,163						456				60				2,679	
連結調整	2019 3Q	109	3	11	16	▲7	▲1	20	61	▲20	▲20	▲113	▲60				
	2018 3Q	106		▲5		▲6		▲41				▲53					
グループ 管理費用	2019 3Q													▲2,730	▲258	▲2,730	▲258
	2018 3Q													▲2,472		▲2,472	
営業利益計	2019 3Q	13,520	1,870	962	▲1,475	2,031	438	1,500	▲23	1,389	446	▲34	▲291	▲2,730	▲258	16,640	707
	2018 3Q	11,650		2,437		1,593		1,523		943		257		▲2,472		15,933	

(注) 19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年3Q実績も遡及修正済み。

ポイント

セグメント	エリア	2019年度3Q累計
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂の堅調な販売や、高付加価値品の拡販により増益
	米州	2018年度の寒波・ハリケーンの影響の反動に加え、CBEの数量増加により増益
	東南アジア	原材料の採算改善により増益
	中国	チョコレート用油脂の数量減により減益
	欧州	原材料の採算改善により増益
業務用 チョコレート	日本	アイス用チョコレートは減少したが、菓子向けの堅調な販売により増益
	米州	ハラドは3Qに増益となるも、繁忙期の数量減、リアル安による原料コストの増加、またBlommerでの先物評価損益の影響により減益
	東南アジア	販売が堅調に推移し増益
	中国	菓子向けの販売が堅調に推移し増益
	欧州	数量増により増益
乳化・発酵素材	日本	デザート市場向けクリームが伸張り増益
	東南アジア	調製品事業の回復が遅れるも、前年比では採算改善により増益
	中国	マーガリン・ショートニングが減少するも、フィリングの増加や採算改善により増益
大豆加工素材	日本	機能剤の数量は減少するも、大豆たん白素材、大豆たん白食品が堅調に推移し増益
	中国	機能剤の数量減により減益

◆10. 売上高・営業利益（所在地別・事業別）通期業績予想

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019修正予想※	35,400	▲1,382	34,200	5,417	21,200	3,406	3,300	407	19,800	▲3,622	113,900	4,225
	2019期初予想	36,900	118	29,700	918	20,400	2,607	3,400	507	23,500	78	113,900	4,225
	2018	36,782		28,782		17,793		2,893		23,422		109,675	
業務用 チョコレート	2019修正予想※	38,800	240	127,600	110,353	13,000	3,138	3,300	404	4,700	4,700	187,400	118,834
	2019期初予想	39,400	840	133,400	116,153	11,600	1,738	3,000	104			187,400	118,834
	2018	38,560		17,247		9,862		2,896				68,566	
乳化・発酵 素材	2019修正予想※	62,500	13			14,100	2,734	14,900	2,261			91,500	5,008
	2019期初予想	64,000	1,513			13,400	2,034	14,100	1,461			91,500	5,008
	2018	62,487				11,366		12,639				86,492	
大豆加工 素材	2019修正予想※	33,900	771					3,300	319			37,200	1,090
	2019期初予想	34,500	1,371					2,700	▲281			37,200	1,090
	2018	33,129						2,981				36,110	
売上高計	2019修正予想※	170,600	▲359	161,800	115,770	48,300	9,278	24,800	3,390	24,500	1,078	430,000	129,156
	2019期初予想	174,800	3,841	163,100	117,070	45,400	6,378	23,200	1,790	23,500	78	430,000	129,156
	2018	170,959		46,030		39,022		21,410		23,422		300,844	

※2019修正予想は2019年11月5日時点。

※19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。前期比は前期(12ヶ月)の数値
上記売上高は、外部顧客への売上高(内部取引は消去後の売上高)

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019修正予想※	4,065	81	2,676	923	1,578	649	149	▲157	1,574	409	▲40	▲49			10,004	1,854
	2019期初予想	3,662	▲322	2,210	457	1,498	569	419	113	1,294	129	1	▲8			9,084	936
	2018	3,984		1,753		929		306		1,165		9				8,148	
業務用 チョコレート	2019修正予想※	6,897	451	1,345	▲15	1,305	344	247	275	497	497	39	1,345			10,330	2,898
	2019期初予想	6,687	241	2,351	991	1,141	180	74	102			43	1,349			10,296	2,864
	2018	6,446		1,360		961		▲28				▲1,306				7,432	
乳化・発酵 素材	2019修正予想※	2,770	940			822	624	1,404	413			▲45	▲345			4,952	1,632
	2019期初予想	2,363	533			868	670	1,117	126			▲49	▲349			4,300	980
	2018	1,830				198		991				300				3,320	
大豆加工 素材	2019修正予想※	3,316	668					683	99			131	75			4,130	841
	2019期初予想	3,433	785					559	▲25			138	82			4,130	841
	2018	2,648						584				56				3,289	
連結調整	2019修正予想※	164	1,352	▲86	▲77	3	48	37	37	20	20	▲138	▲1,381				
	2019期初予想	232	1,420	0	9	15	60	▲29	▲29			▲218	▲1,461				
	2018	▲1,188		▲9		▲45						1,243					
グループ 管理費用	2019修正予想※													▲3,916	▲251	▲3,916	▲251
	2019期初予想													▲3,809	▲144	▲3,809	▲144
	2018													▲3,665		▲3,665	
営業利益計	2019修正予想※	17,212	3,490	3,935	832	3,709	1,665	2,522	669	2,091	926	▲53	▲354	▲3,916	▲251	25,500	6,975
	2019期初予想	16,377	2,655	4,561	1,458	3,523	1,479	2,140	287	1,294	129	▲85	▲386	▲3,809	▲144	24,000	5,475
	2018	13,722		3,103		2,044		1,853		1,165		301		▲3,665		18,525	

※2019修正予想は2019年11月5日時点。

※19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。前期比は前期(12ヶ月)の数値との比較。

ポイント

	FY19年度
植物性油脂	採算重視の販売継続により増益計画
・日本	コモディティ油脂及び、チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。
・米州(FY19年度は15ヶ月)	チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。
・東南アジア(FY19年度は15ヶ月)	ポートフォリオの見直しによる戦略的減少。
・中国(FY19年度は15ヶ月)	
業務用	カラーチョコのライン増設寄与などにより増益計画。
チョコレート	Blommerの数量減及びブラジルの採算性の低下を見込む。
・米州(FY19年度Blommer除く15ヶ月)	東南アジアでの堅調な販売、中国での拡販を図る計画。
・東南アジア 中国(FY19年度は豪州IFS除く15ヶ月)	
乳化・発酵素材	日本での新市場での拡販に加え、中国新工場寄与により増益計画。
(FY19年度東南アジア、中国が15ヶ月)	
大豆加工素材	大豆たん白食品の販売回復などにより、増益計画。
(FY19年度中国が15ヶ月)	

◆ 11. 中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)

(対前年同期比%)

セグメント	製品群	エリア	2017 (年間)	2018						2018 (年間)	2019				2019 (年間期初予想)	
				1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q		3Q累計
植物性油脂	チョコレート用油脂 (CBE、CBR、CBS)	日本	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	97%	107%	102%	108%	104%	100%
		米州	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	98%	103%	100%	107%	102%	119%
		東南アジア	108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	98%	95%	97%	95%	96%	102%
		中国	114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	73%	97%	83%	65%	76%	103%
		欧州	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	84%	83%	84%	78%	81%	98%
		合計	99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	94%	97%	96%	98%	98%	105%
業務用 チョコレート	チョコレート (カカオ製品を含む)	日本	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	93%	103%	98%	100%	99%	103%
		米州	89%	93%	92%	92%	102%	117%	110%	101%	82%	131%	96%	105%	99%	106% ※1
		東南アジア	124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	119%	127%	123%	106%	116%	127%
		中国	92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	99%	104%	101%	106%	103%	106%
		欧州	105%	122%	131%	127%	120%	117%	120%	123%	123%	106%	114%	114%	114%	105%
		合計	101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	95%	115%	104%	104%	104%	110%
		Blommer (参考)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107%	98%	102%	93%	99%
乳化・発酵 素材	クリーム	日本	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	107%	104%	105%	97%	102%	103%
		東南アジア	120%	125%	103%	111%	103%	114%	109%	110%	116%	116%	116%	130%	125%	116%
	マーガリン・ ショートニング	日本	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	84%	85%	85%	82%	84%	94%
		中国	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	94%	88%	91%	83%	88%	145%
フリリング	中国	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	115%	114%	114%	98%	108%	116%	
大豆 加工素材	大豆たん白素材	日本	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	101%	104%	103%	102%	102%	103%
	大豆たん白食品	日本	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	108%	102%	105%	98%	103%	106%
	機能剤	日本	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	96%	90%	93%	110%	97%	113%

※1：Blommerの数量は除いて算出 ※2：BlommerのP/L連結は2019年1Qから開始、参考値として連結前の同月期の販売数量実績対比の指数を掲載
19年度年間予想は、当初計画の12ヶ月ベース。
チョコレート、クリーム（東南アジア）については、集計方法変更等により遡及修正。

2019年度3Q(3ヶ月) ポイント

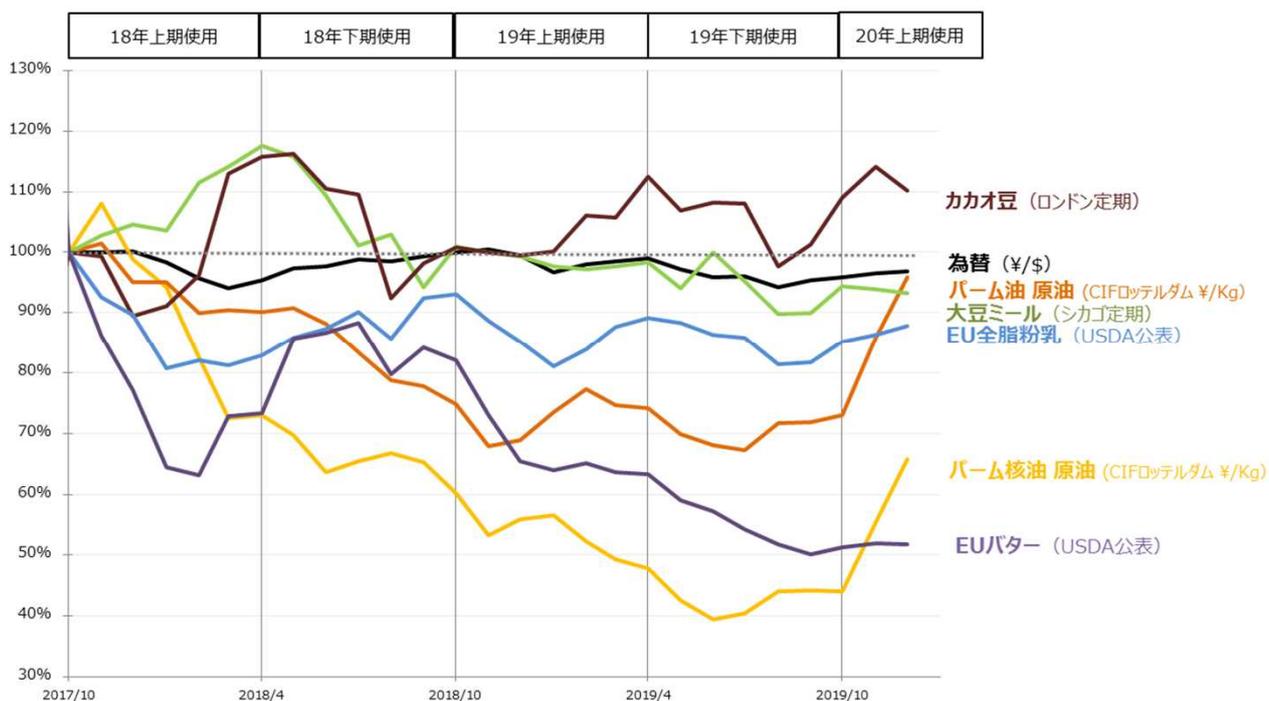
植物性油脂	日本、米州ではCBE等のチョコレート用油脂が3Qも伸長。 中国ではポートフォリオの見直し、欧州では採算性重視の販売によりCBRやCBSが減少。
業務用チョコレート	日本では菓子向けが堅調に推移。米州（ブラジル）は販促により数量が増加。 東南アジアはタイ、豪州を中心に増加、また欧州も販売が堅調に推移し増加。 Blommerは契約数量引き下げにより減少。
乳化・発酵素材	日本ではクリームはデザート市場向けは堅調も、飲料向けクリームが減少し前年を下回った。 中国ではパン市場向けの競争などにより減少。
大豆加工素材	大豆たん白素材は健康栄養市場向けを中心に堅調に推移。 機能剤は、水溶性大豆多糖類が伸長。

◆ 12. 主要関連相場

- ・当グループ事業に影響のある主な原料の国際相場について、円換算した価格を指数化し一覧化したものであり、実際の使用原料相場とは相違があります。
- ・当グループの原料手当期間に合わせ、使用時期と手当時期を半年ずらして表示しています。

主要関連原料相場推移（円換算後）

※2017/10/1の相場を100とする



主な為替レート

- ・ P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

主要為替レート

		2018年度	2018年度	2019年度	対前年同期	
		3Q	期末	3Q	差	増減率
\$	P/L	109.61	110.43	109.15	▲0.46	▲0.4%
	B/S	113.57	111.00	107.92	▲5.65	▲5.0%
BRL	P/L	30.62	30.38	28.12	▲2.50	▲8.2%
	B/S	28.37	28.65	25.92	▲2.45	▲8.6%
€	P/L	130.97	130.42	122.66	▲8.31	▲6.3%
	B/S	132.14	127.00	118.02	▲14.12	▲10.7%
元	P/L	16.85	16.72	15.90	▲0.95	▲5.6%
	B/S	16.50	16.16	15.13	▲1.37	▲8.3%

- ・当グループでは、仕入れは為替予約を用いて実施しています。

◆13. 中期経営計画

基本戦略



基本方針

- ①コアコンピタンスの強化
- ②大豆事業の成長
- ③機能性高付加価値事業の展開
- ④コストダウンとグローバルスタンダードへの統一

	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度予想		20年度目標
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	10.7%	—	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	—	—	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	77.0%	—	—	約115%
財務レバレッジ	1.8倍	1.7倍	2.5倍	—	—	約1.8倍
EPS	140.8円	159.9円	134.7円	197.8円	—	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	—	—	—
営業利益	197億円	205億円	185億円	255億円	—	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	—	—	—
株主還元 (配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	28.3%	—	配当性向 30-40%
営業キャッシュフロー	165億円	282億円	226億円	—	2年間の累計 508億円	4か年累計 1,000億円
CCC	110日	103日	※ 105日	106日	—	CCC 10日間の短縮
売上債権	74日	76日	—	—	—	—
棚卸資産	65日	57日	—	—	—	—
仕入債務	29日	30日	—	—	—	—
設備投資	136億円	147億円	159億円	—	2年間の累計 306億円	4か年累計 600-700億円
M&A	—	—	Blommer・IFS	—	—	500億円の資金確保

※18年度のCCCはBlommerを除く既存事業

19年度修正予想は海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

◆14. トピックス

2019年5月	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画
2019年6月	公募ハイブリッド社債発行
2019年7月	「サステナビリティレポート2019」を公開
	Fuji Brandenburg GmbH設立
2019年8月	「統合報告書2019」発行
2019年12月	「責任あるパーム油調達」に関する取組み状況の報告
2020年1月	CDP「気候変動A-(マイナス)リスト」に選定
2020年2月	CDP「フォレスト(森林)Aリスト」、「ウォーター(水)A-(マイナス)リスト」に選定